

EDION REPORT

エディオン

株式会社 エディオン

(証券コード:2730)

第12期 報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日



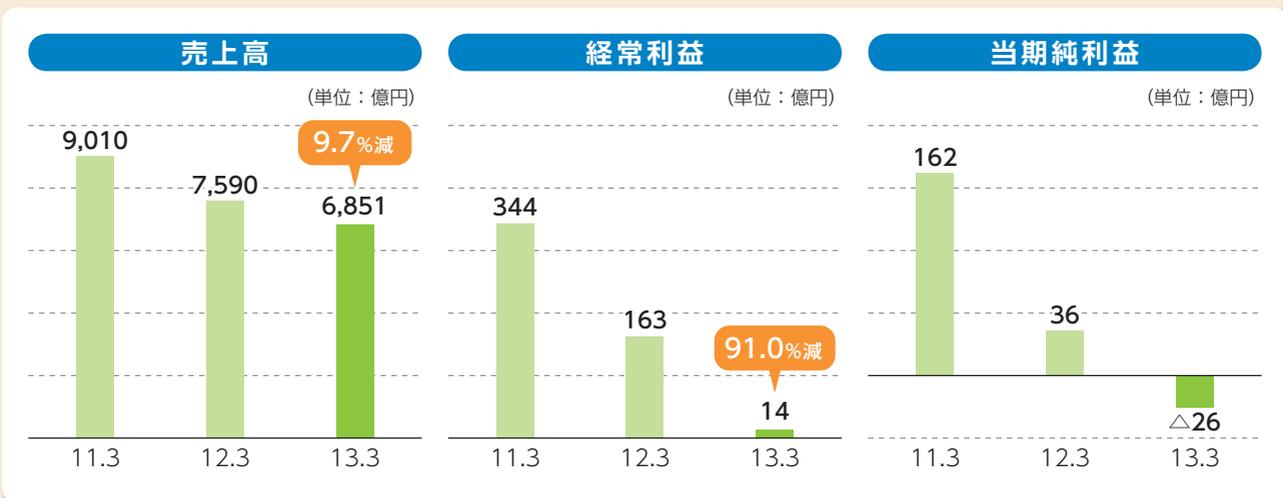
2012年度のポイント

- 収益回復に向けた構造改革に取り組んでいます。



代表取締役会長兼社長

久保 允希



Q 2012年度の業績についてお聞かせ下さい。

A 地デジ特需の反動やストアブランド統一にともなう経費の増加などにより、業績が落ち込みました。

前年の地上波デジタル放送切替にともなうテレビやレコーダーの買替需要の反動減が当社の想定を大きく上回ったことや、景気の低迷からパソコンやオーディオその他のデジタル機器が不振だったことから、売上高が6,851億円（前期比90.3%）と前年を下回る結果となりました。一方、2012年10月に、これまで各地域で展開していた「イシマル」「エイデン」「ミドリ」「デオデオ」の各ストアブランドを「エディオン」に統一したことで、改装費用や広告宣伝費が一時的に発生したため、販売管理費が1,760億円（前期比100.1%）と増加いたしました。その結果、経常利益が14億円（前期比9.0%）、当期純損失が26億円となりました。

Q スストアブランド統一による効果をお聞かせ下さい。

A 社員の意識も変わり、構造改革に向けた取り組みが進んでいます。

当社は2002年の設立以来、段階的に統合を進め、2012年度の物流および人事制度の統合をもって一通りの統合が完了しました。その最終仕上げがストアブランドの統一です。これまでは、お客様へのサービスや業務について、地域ごとに異なる業務を最もお客様にとって最適な方法に統一することで、全体のレベルをあげる取り組みを行ってきました。設立から10年がたち、業務の統一が完了いたしましたので、

今後は新しいサービスや業務の改善について、注力してまいります。ストアブランド統一により社員の意識も変わっており、構造改革に向けていくつかのプロジェクトをスタートさせました。今後は、これらによる成果を着実にあげていきたいと考えています。

Q 2013年度の見通しについてお聞かせ下さい。

A 業績の回復に向けて、売上成長と経費削減の取り組みを進めてまいります。

過去2年間にわたってテレビの販売低迷により家電市場は縮小してまいりましたが、ようやくテレビの売上も底打ちしてきました。これにより、今後は家電市場全体が横ばいで推移していくものと思われます。こうした中で、減少した売上を回復していくために、売上成長に向けた取り組みを強化してまいります。とくに近年、力を入れて取り組んでいる太陽光発電システム・リフォームなどのエコ・リビングソーラー事業については、着実に実績があがってきており、小売業の中で国内トップの売上となっています。ハウスメーカーや地域の工務店のシェアがまだまだ高い分野でありますので、さらなる拡大に向けて力を入れてまいります。そのほか、西日本を中心に積極的な出店を行い、地域でのシェアを拡大してまいります。一方で、早期に収益力を回復してまいりたいと考えています。不採算店の閉鎖や適正な人員体制の構築などを進めてまいります。現在、新規採用を抑制しており、新規出店に必要な人員を既存店から配置転換することにより、適正な人員体制となるよう進めております。そのほか、2012年度よりプロジェクトを立ち上げ、社内のあらゆる経費について削減に取り組んでおります。これらにより、早期に売上および利益の回復を実現してまいりたいと考えています。

エコ・リビング
ソーラー事業

リフォームなどのエコ・リビングソーラー事業
の売上が拡大しています。

エディオングループでは、数年前より太陽光発電システム・リフォームといったエコ・リビングソーラー事業の拡大に注力しています。

太陽光発電システムは、固定価格買取制度の後押しなどもあり、2012年度には、エディオングループで約7,000セットをお客様のご家庭に設置いたしました。

また、非常にご好評いただいているキッチン・バス・トイレなどのパックリフォームについても、お客様の認知の拡大にともなって売上が急速に伸びてきております。これまで限られた大型店のみで展開しておりましたが、需要の高いトイレリフォームについては3月より全店で取り扱いを開始いたしました。価格だけでなく、工事のわずらわしさを出来る限りおさえたことで、お客様に家電製品を購入するような気軽さでトイレリフォームを行っていただけます。



リフォーム



太陽光発電システム

ぷち DE リフォ
リフォーム未満という新発想

さっと交換!
工事約3時間!
わずか

お手頃!
工事費込みの
低価格! で

トイレが **劇的** に変わります!

エディオン
いち押し! **超節水トイレ買い替えセット**

TOTO 超節水トイレ KQシリーズ

TOTO ウォシュレット TCF317 貯湯式
脱臭機能付

トイレ取付工事費込 既存トイレ器体撤去工事
トイレ設置工事

全て込み **129,800** 円 (税込)

※詳細は店頭係員にご確認下さい。



TOTO

どどん 節水 おどろきの節水量を実現! 家計の負担も大幅に軽減!

いつも 清潔 洗浄能力が大きく進化した最新便器!



出店状況

出店状況

2012年度は、「外環大東店（大阪府）」「浜松和田店（静岡県）」など6店舗を新設し、「尾張旭店（愛知県）」「横浜店（神奈川県）」など9店舗を移転いたしました。そのほか広島市中心部の広島本店隣に「広島本店新館」をオープンいたしました。

またエディオン設立10周年を機に「イシマル」「エイデン」「ミドリ」「デオデオ」の各ストアブランドを「エディオン」に統一いたしました。

一方で家電直営店3店舗を閉鎖いたしました。非家電直営店は1店舗を新設、4店舗を閉鎖し、フランチャイズ店舗は1店舗の増加となりました。

区分	店名	開店日	所在地
移転	ピバシティ彦根店	2012.04.06	滋賀県彦根市
新設	イオンモール福津店	2012.04.26	福岡県福津市
移転	アルプラザ城陽店	2012.04.27	京都府城陽市
新設	伊東店	2012.06.15	静岡県伊東市
移転	イオンタウン刈谷店	2012.10.05	愛知県刈谷市
移転	帯広西店(100満ボルト)	2012.10.20	北海道帯広市
移転	サンリブもりつね店	2012.10.26	北九州市小倉南区
移転	尾張旭店	2012.10.26	愛知県尾張旭市

区分	店名	開店日	所在地
新設	高岡店(100満ボルト)	2012.11.02	富山県高岡市
新設	浜松和田店	2012.11.23	浜松市東区
新設	松山平田店	2012.12.07	愛媛県松山市
移転	旭川永山店(100満ボルト)	2012.12.08	北海道旭川市
新設	外環大東店	2013.03.01	大阪府大東市
移転	横浜店	2013.03.01	横浜市中区
移転	アルプラザ近江八幡店	2013.03.08	滋賀県近江八幡市

直営店・フランチャイズ(FC)店舗数

(2013年3月31日現在)

(単位：店舗)

	直営		FC	合計
	家電	非家電		
北海道	6	1	0	7
関東	14	3	0	17
北陸	15	7	0	22
中部	99	55	108	262
近畿	92	1	60	153
中国	82	2	274	358
四国	16	0	94	110
九州・沖縄	31	1	216	248
合計	355	70	752	1,177



PICK UP ピックアップ!

外環大東店 オープン (大阪府大東市)



2013年3月1日、奈良県との境の生駒山のふもとにある大阪府大東市に、外環大東店がオープンしました。主要幹線道路である大阪外環状線に面し、広域に集客が期待できる店舗になっています。

外環大東店

所在地 大阪府大東市寺川三丁目12番19号
電話番号 072-889-2811
売場面積 約2,958㎡(約895坪)

若いお客様が多い地域特性にあわせ、品揃え強化に取り組んでいます。

店舗の周辺には、高校野球で有名な大阪桐蔭高校や大阪産業大学など学校が多く立地しており学生が多い一方で、大阪都市圏のベッドタウンとして若いファミリー層も多く居住しているエリアです。平日昼間は学生、土日は若いファミリー層に多くご来店いただいております。そのため、タブレットや携帯電話などモバイル機器に対してお客様の関心が高く、店舗ではお客様の期待にお応えできるよう関連品やアクセサリの品揃え強化に取り組んでいます。



タブレットコーナー

店長のひとこと～当社にしかできない取り組みを強化しています。

最近では、ネットと比較されるお客様も多いですが、当社にしかできない取り組みでお客様にご支持いただける店舗を目指していきます。実感・体感できる売場、そしてわかりやすいPOPの設置のほか、お客様に最適な商品をおすすめする接客が最大の差異化になります。そしてエディオンカードによる保証や即日配達などのサービス体制もしっかりとアピールしていきたいと思っております。そのほかご好評いただいているキッチンやトイレなどのリフォームにも力を入れて取り組んでいます。



木下店長

連結財務諸表

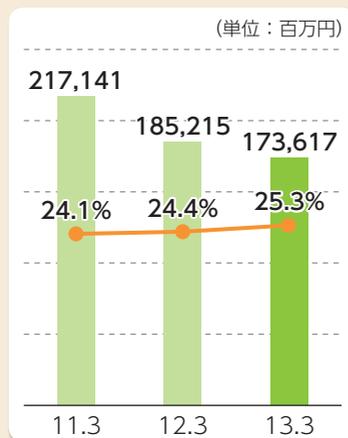
連結損益計算書のポイント

(単位:百万円)

	前期	売上比	当期	売上比
売上高	759,025	100.0%	685,145	100.0%
売上原価	573,809	75.6%	511,527	74.7%
売上総利益	185,215	24.4%	173,617	25.3%
販売費及び一般管理費	175,929	23.2%	176,093	25.7%
営業利益	9,286	1.2%	△2,476	△0.4%
営業外収益	8,741	1.2%	5,305	0.8%
営業外費用	1,643	0.2%	1,352	0.2%
経常利益	16,384	2.2%	1,476	0.2%
当期純利益	3,697	0.5%	△2,640	△0.4%

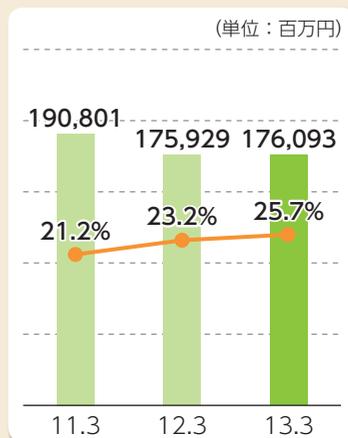
売上総利益

売上総利益率は25.3%となり、前期から0.9%改善しました。これは、主に利益率の低いテレビの売上構成比が減少したことによるものです。一方で売上総利益額では、売上が前期より738億円減少したことに伴い、115億円減少し、1,736億円となりました。



販売費及び一般管理費

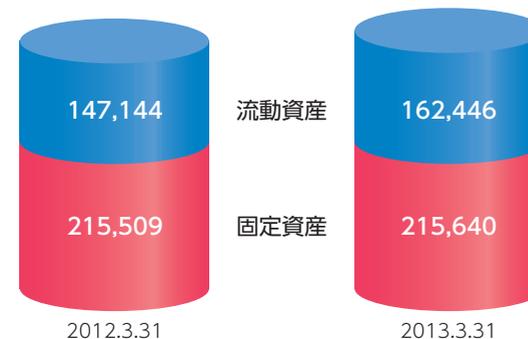
販売費及び一般管理費につきましては、経費削減に取り組みましたが、ストアブランド統一に伴う大規模なセールの実施による広告宣伝費用や、店舗の看板や外装などの変更に伴う改装費用が発生したことにより増加いたしました。以上の結果、販売費及び一般管理費合計では、前期より1億円増加し、1,760億円となりました。



連結貸借対照表のポイント

資産の部

(単位:百万円)



総資産は、前期末と比較し154億円増加し、3,780億円となりました。これは商品及び製品の増加等による流動資産の増加が153億円あったこと等によるものであります。

負債・純資産の部

(単位:百万円)



負債は、前期末と比較し211億円増加し、2,395億円となりました。これは支払手形及び買掛金、短期借入金の増加等による流動負債の増加が88億円あったこと、長期借入金の増加等による固定負債の増加が123億円あったこと等によるものであります。

純資産は、前期末と比較し57億円減少し、1,384億円となりました。これは26億円の当期純損失になったこと及び配当金の支払が20億円あったこと等によるものであります。

TOPICS トピックス

トピックス 1 大阪国際女子マラソンで渡邊選手が3位に入賞しました。

2013年1月27日に開催された大阪国際女子マラソンで当社所属の渡邊裕子選手が日本人2位となる3位に入賞しました。2度目のマラソンでしたが、前回は大きく上回る2時間25分56秒の好タイムで完走し、一躍、国内トップ選手の仲間入りを果たしました。



トピックス 2 名古屋で個人投資家向け会社説明会を開催しました。

2013年4月12日にSMBC日興証券名古屋支店のホールにて、個人投資家向けの会社説明会を開催いたしました。当日は95名の投資家の皆様にご来場いただき、当社代表取締役副会長 岡嶋昇一とIR部長 村上栄一より、当社の概要と戦略についてご説明させていただきました。今後も投資家の皆様に対してお理解を深めていただくために、継続的に説明会を実施してまいりたいと考えております。



会社概況

会社概況

(2013年3月31日現在)

- 会社名 株式会社エディオン
- 事業内容 家庭電化製品等の販売
- 設立日 2002年3月29日
- 資本金 101億74百万円
- 本店所在地 広島市中区紙屋町二丁目1番18号
- 本社事務所 大阪市北区堂島一丁目5番17号
- 上場取引所 東京、名古屋取引所 各市場第一部
- 正社員数 8,156名 (単体)、9,602名 (連結)

株主メモ

- 決算日 毎年3月31日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関
- 同連絡先 大阪府大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL : 0120-094-777 (通話料無料)
- ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

株式の状況

(2013年3月31日現在)

- 発行可能株式総数 300,000,000 株
- 発行済株式総数 105,665,636 株
- 株主数 36,672 名

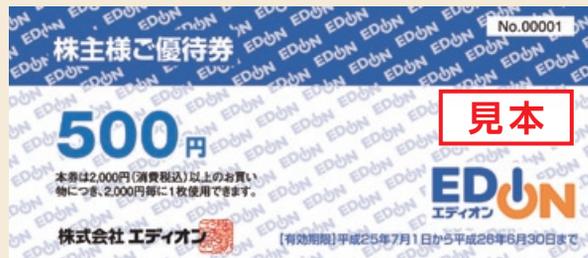
取締役・監査役

(2013年6月27日現在)

- 取締役
 - 代表取締役会長兼社長 久保 允 誉
 - 代表取締役副会長 岡嶋 昇 一
(株)エディオンコミュニケーションズ代表取締役社長
(株)サンキュー代表取締役会長
 - 取締役副会長 友則 和 寿
(株)エディオンハウスシステム代表取締役社長
 - 常務取締役 加藤 徳 寿
営業本部長
 - 常務取締役 船守 精 一
事業開発本部長
 - 常務取締役 麻田 祐 司
物流サービス本部長
 - 常務取締役 梅原 正 幸
管理本部長
 - 常務取締役 山崎 徳 雄
経営企画本部長 兼 経営企画部長
 - 取締役 湯山 隆 司
総務統括部長
- 監査役
 - 常勤監査役 佐々木 正 弘
 - 社外監査役 異 相 武 憲
 - 社外監査役 沖 中 隆 志

株主優待制度変更のご案内

当社は、平成25年2月6日の取締役会におきまして、株主優待制度の変更について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。



① 変更の理由

当社は、株主の皆様のご支援に感謝するとともに、当社をご利用・ご理解いただくこと、当社株式への投資の魅力を高め株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を導入しております。

このたび、株主の皆様からお寄せいただいたご意見・ご要望を踏まえまして、これまで以上に優待をご利用いただきやすくするために、ご優待券による実質的な割引率をこれまでの10%相当から25%相当に変更するとともに、個人投資家の皆様により多くご利用いただけるよう、所有株数毎のご優待額を変更いたしました。

② 変更の内容

<株主様ご優待券の利用方法>

(変更前) お買い上げ金額2,000円(税込)毎に
1枚(200円)のご優待券がご利用いただけます。

(変更後) お買い上げ金額2,000円(税込)毎に
1枚(500円)のご優待券がご利用いただけます。
1回のお買い物でのご利用は**最大100枚まで**とさせていただきます。

<株主様ご優待券の配布基準>

(変更前)

ご所有株数	配布枚数 (変更前)	ご優待額 (変更前)
100 ~ 499株	200円券 × 15枚	3,000円分
500 ~ 999株	200円券 × 25枚	5,000円分
1,000 ~ 1,999株	200円券 × 50枚	10,000円分
2,000 ~ 4,999株	200円券 × 75枚	15,000円分
5,000 ~ 9,999株	200円券 × 125枚	25,000円分
10,000株以上	200円券 × 250枚	50,000円分

(変更後)

ご所有株数	配布枚数 (変更後)	ご優待額 (変更後)
100 ~ 499株	500円券 × 6枚	3,000円分
500 ~ 999株	500円券 × 20枚	10,000円分
1,000 ~ 1,999株	500円券 × 30枚	15,000円分
2,000 ~ 4,999株	500円券 × 40枚	20,000円分
5,000 ~ 9,999株	500円券 × 50枚	25,000円分
10,000株以上	500円券 × 100枚	50,000円分

③ 株主様ご優待券の有効期限、ご利用可能店舗等

*平成25年6月下旬に発行される株主様ご優待券

対象者：平成25年3月31日現在の株主名簿に記録された、1単元(100株)以上ご所有の株主様

有効期限：平成25年7月1日～平成26年6月30日(1年間)

ご利用可能店舗：エディオングループ全店舗

「エディオン」「100満ボルト」「ホームエキスポ」「ディスクステーション(※)」「フランチャイズ店舗を含む)およびインターネットショッピングサイト「エディオンネットショップ」(<http://www.edion.com/ec/>)でのご購入にご利用いただけます。(※CD/DVDなどのレンタルではご利用いただけません。)